【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公表番号】特表2019-526051(P2019-526051A)
【公表日】令和1年9月12日(2019.9.12)
【年通号数】公開・登録公報2019-037
【出願番号】特願2019-504040(P2019-504040)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　5/02　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　37/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　5/02　Ａ
Ｇ０１Ｎ　37/00　１０１

【誤訳訂正書】
【提出日】令和3年8月18日(2021.8.18)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
前記第一誘電体層は、標的物質を結合する結合物質を含んでもよい。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動作可能に電源に接続すると、間に電界をもたらすよう構成される第一電極及び第二電極と、
前記第一電極と前記第二電極との間に位置する第一誘電体層と第二誘電体層であって、互いに離間し、その間に少なくとも部分的にマイクロ流体通路を画定し、前記マイクロ流体通路が前記電界に垂直な長さに沿って伸びる第一誘電体層と第二誘電体層と、
前記第一電極と前記通路の外側に位置する駆動電極との間に配置される圧電部からなるバルク弾性波（ＢＡＷ）共振子であって、前記共振子に電力を与えるために、前記第一電極と前記駆動電極とは動作可能に発振回路に接続されるバルク弾性波共振子と、を備える装置。
【請求項２】
前記第一電極と前記第二電極とが動作可能にコントローラに接続され、前記コントローラは、前記電界を生成するために前記電極に対して電位を与えるよう構成される請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記コントローラは一定又はパルスの電界をもたらすよう構成される請求項２に記載の装置。
【請求項４】
前記コントローラは、前記マイクロ流体通路の流体に存在するゼロではないゼータ電位を有する標的物質を活性化し前記共振子に向けて移動させるために前記電位を与えるよう

構成される請求項２または３に記載の装置。
【請求項５】
前記コントローラは、前記電界を反転するよう構成され、前記マイクロ流体通路の流体に存在するゼロではないゼータ電位を有する非標的物質を活性化し前記共振子よりも遠方に移動させる請求項２から４の何れか一項に記載の装置。
【請求項６】
前記コントローラは、濃度、質量、又はその両方を決定するよう構成される請求項２から５の何れか一項に記載の装置。
【請求項７】
前記第一誘電体層は、標的物質を結合する結合物質から構成される請求項１から６の何れか一項に記載の装置。
【請求項８】
前記誘電体層と第一電極と第二電極は、前記共振子表面を超えて前記マイクロ流体通路長さに沿って延在する請求項１から７の何れか一項に記載の装置。
【請求項９】
前記マイクロ流体通路はマイクロ流体カートリッジの上流ポートと下流ポートとの間に延在し、前記誘電体層と第一電極と第二電極は、少なくとも前記共振子と前記上流ポートとの間に配置される請求項８に記載の装置。
【請求項１０】
前記マイクロ流体通路の前記上流ポートは感知プラットフォームのサンプル導入部に流体接続される請求項９に記載の装置。
【請求項１１】
前記マイクロ流体通路に沿って配置される複数共振子により構成される請求項１から１０の何れか一項に記載の装置。
【請求項１２】
第一電極と第二電極に電位を与え、バルク弾性波（ＢＡＷ）共振子に隣接して配置されるマイクロ流体通路の長さに垂直の電界を生成することと、
前記共振子を超えて前記マイクロ流体通路に流体を流すことと、
前記共振子の特徴に基づき前記流体内の標的物質量を決定することと、からなる方法。
【請求項１３】
さらに前記電界にパルスを発するために前記電位を変化させることからなる請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
さらに前記標的物質量を決定する前に前記電界を反転させるために前記電位を逆転させることからなる請求項１２または１３に記載の方法。
【請求項１５】
さらに前記標的物質量を決定する前に前記共振子を超えて洗浄液を流すことからなる請求項１２から１４の何れか一項に記載の方法。
【請求項１６】
前記標的物質はゼロではないゼータ電位を有するバイオ粒子である請求項１２から１５の何れか一項に記載の方法。
【請求項１７】
さらに前記標的物質量を決定する前、後、又は前後に前記流体のｐＨを調整することからなる請求項１２から１６の何れか一項に記載の方法。
【請求項１８】
決定される前記標的物質量は、少なくとも濃度、質量のいずれか、又はその両方からなる請求項１２から１７の何れか一項に記載の方法。
【請求項１９】
前記流体は、緩衝液又は複合マトリクスからなる請求項１２から１８の何れか一項に記載の方法。

【請求項２０】
前記電界はマイクロ流体カートリッジに配置される前記マイクロ流体通路の５０％から１００％長さに沿って生成される請求項１２から１９の何れか一項に記載の方法。